

外国人介護人材日本語学習支援業務委託プロポーザル 評価基準

採点項目		観点	採点基準		
業務経歴等 (120点) 【事務局評価】	企業の業務実績（52点） ※業務実績等の内容を証明する契約書や仕様書等の写しで業務内容が確認できない場合は、採点対象としない。 ※単年度契約で、同一内容で同一官公庁と毎年更新する契約についても複数カウントとする。 （例）『令和４年度〇〇市 単年度契約』『令和５年度〇〇市 単年度契約』は２カウントとして数える。 ※公告日において業務を完了しているものを実績とみなす。 ※プライベートレッスン等のマンツーマン指導の業務は実績とみなさない。	平成３１年４月以降に、官公庁（国、地方公共団体、公社、公団及び独立行政法人に限る。）発注の外国人向けの「介護の日本語学習支援業務（講座運営業務を含む）」又は「介護福祉士国家試験対策支援業務（講座運営業務を含む）」の元請として契約した業務の数（40点）	実績が11件以上(40) 実績が8～10件(30) 実績が5～7件(20) 実績が2～4件(10) 実績が1件(0)		
		平成３１年４月以降に、官公庁（国、地方公共団体、公社、公団及び独立行政法人に限る。）発注の外国人向けの「日本語学習支援業務（講座運営業務を含む）」の元請として契約した業務の数（12点）	実績が16件以上(12) 実績が11～15件(9) 実績が6～10件(6) 実績が1～5件(3) 実績が0件(0)		
		業務担当責任者が、平成３１年４月以降に、官民問わず、外国人向けの「介護の日本語学習支援業務（講座運営業務を含む。）」又は「介護福祉士国家試験対策支援業務（講座運営業務を含む。）」の企画に携わった業務の数（20点）	経験が7件以上(20) 経験が5～6件(15) 経験が3～4件(10) 経験が1～2件(5) 経験が0件(0)		
		業務担当責任者が、平成３１年４月以降に、官民問わず、外国人向けの「日本語学習支援業務（講座運営業務を含む。）」の企画に携わった業務の数（12点）	実績が10件以上(12) 実績が7～9件(9) 実績が4～6件(6) 実績が1～3件(3) 実績が0件(0)		
		※外国人向けの「介護の日本語学習支援業務（講座運営業務を含む。）」及び「介護福祉士国家試験対策支援業務（講座運営業務を含む。）」の実績は採点対象としない。	加点(4)		
		業務担当責任者が日本語教育に係るいずれかの資格（日本語教育能力検定、日本語教師養成講座（420時間）修了、日本語教育主専攻卒業又は副専攻（26単位）取得）を有している：4点（加点）			
	講師の業務経験（32点） ※本事業で想定する講師２名（国家試験受験コース及び国家試験受験準備コースで１名ずつ選定）を採点対象とする。 ※講師は、日本語教育に係るいずれかの資格（日本語教育能力検定、日本語教師養成講座（420時間）修了、日本語教育主専攻卒業又は副専攻（26単位）取得）を有していること。 ※業務の内容を示す契約書等の写しで業務内容が確認できない場合は、採点対象としない。 ※単年度契約で、同一内容で同一官公庁と毎年更新する契約についても複数カウントとする。 （例）『令和４年度〇〇市 単年度契約』『令和５年度〇〇市 単年度契約』は２カウントとして数える。 ※公告日において業務を完了しているものを業務経験とみなす。 ※プライベートレッスン等のマンツーマン指導の業務は業務経験とみなさない。	【講師１人目】 講師が、平成３１年４月以降に、官民問わず外国人向けの「介護の日本語学習支援業務（講座運営業務を含む）」及び「介護福祉士国家試験対策支援業務（講座運営業務を含む）」に携わった業務の数（12点） ※講師が介護に係る下記のいずれかの資格を有している（点数の高い方の資格で加点） 認定介護福祉士、介護支援専門員又は主任介護支援専門員：4点（加点） 介護福祉士：3点（加点） 実務者研修（旧ホームヘルパー研修1級）：2点（加点） 介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー研修2級）：1点（加点）	実績が10件以上(12) 実績が7～9件(9) 実績が4～6件(6) 実績が1～3件(3) 実績が0件(0) 加点(1～4点)		
		【講師２人目】 講師が、平成３１年４月以降に、官民問わず外国人向けの「介護の日本語学習支援業務（講座運営業務を含む）」及び「介護福祉士国家試験対策支援業務（講座運営業務を含む）」に携わった業務の数（12点） ※講師が介護に係る下記のいずれかの資格を有している（点数の高い方の資格で加点） 認定介護福祉士、介護支援専門員又は主任介護支援専門員：4点（加点） 介護福祉士：3点（加点） 実務者研修（旧ホームヘルパー研修1級）：2点（加点） 介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー研修2級）：1点（加点）	実績が10件以上(12) 実績が7～9件(9) 実績が4～6件(6) 実績が1～3件(3) 実績が0件(0) 加点(1～4点)		
		業務実施計画等 (56点) 【選考委員評価】	業務体制（8点）	業務を着実に履行するための体制や、業務担当責任者が業務に従事できない事由が生じた際にバックアップする体制が具体的に示されているか（8点）	特に優れている(8) 優れている(6) 普通(4) やや不十分(2) 不十分(0)
			実施方針の妥当性（8点）	本業務の目的を理解し、その目的の達成に向けた実施方針となっているか（8点）	特に優れている(8) 優れている(6) 普通(4) やや不十分(2) 不十分(0)
			提案内容の具体性・有効性（36点）	「国家試験受験コース」及び「国家試験受験準備コース」それぞれのカリキュラムが示され、その内容及び教材が各コースのレベルに合わせて整理されており、２年度にわたり継続して受講することが効果的な内容であるか（8点）	特に優れている(8) 優れている(6) 普通(4) やや不十分(2) 不十分(0)
				コース分けは、受講者の希望だけに基づくものではなく、受講者の日本語能力や実務経験、職場での様子等を反映させることできる手法が示されているか（8点）	特に優れている(8) 優れている(6) 普通(4) やや不十分(2) 不十分(0)
	受講者に対し、介護福祉士国家試験に向けて学習方法についての助言やモチベーションを維持するための支援が示されているか（8点）			特に優れている(8) 優れている(6) 普通(4) やや不十分(2) 不十分(0)	
	受講者の学習の理解度・習熟度を確認し、それに基づき受講者の弱点や学習方法についてフィードバックできる手法が示されているか（8点）			特に優れている(8) 優れている(6) 普通(4) やや不十分(2) 不十分(0)	
	受講者が所属する事業所に対し、介護福祉士国家試験に向けての情報提供や、受講者の学習の理解度・習熟度が共有できる内容となっているか（4点）			特に優れている(4) 優れている(3) 普通(2) やや不十分(1) 不十分(0)	
	年間作業計画の妥当性（4点）			スケジュール及び作業手順等（講師の選定、受講者のコース分け及び教材の選定等）に妥当性はあるか（4点）	特に優れている(4) 優れている(3) 普通(2) やや不十分(1) 不十分(0)
★評価点（400点）＝（業務経歴等の評価（120点））＋（業務実施計画等評価（56点）×5人）					